

## → PESTIが実施する活動に参加するには？

PESTIでは、社会における科学技術イノベーションのあり方や科学技術イノベーション政策について話し合ったり、政策立案者に届けたい意見を**国民**の皆さんと一緒にまとめたりするためのセミナーやワークショップを開催しています。

また、科学技術イノベーション政策において国民の意見を考慮するにあたり、対象とする政策課題に関連した研究分野の**専門家**の方からのコメントを集める活動も行っています。

こうした社会における科学技術イノベーションや科学技術イノベーション政策に対する国民の参加について、関心を持っている**実務家**の方との協働や連携を目指しています。

詳しくは、PESTIホームページ(アドレスはこのページの下部に記載)にてご案内しておりますので、どうぞご覧ください。

## → 連絡先

〒606-8501 京都市左京区吉田牛ノ宮町

京都大学 物質－細胞統合システム拠点(iCeMS=アイセムス)

科学コミュニケーショングループ

特任准教授 加納圭

TEL 075-753-9784

FAX 075-753-9785

Email [pesti@icems.kyoto-u.ac.jp](mailto:pesti@icems.kyoto-u.ac.jp)

URL <http://www.pesti.jp/>



STI(科学技術イノベーション)に向けた  
政策プロセスへの関心層別関与フレーム設計  
Framework for Broad Public Engagement in Science,  
Technology and Innovation Policy

2014年7月7日 第1版

# PESTI(=ペスティ)とは？

PESTI(=ペスティ)は、「STI(科学技術イノベーション)に向けた政策プロセスへの関心層別関与フレーム設計」(プロジェクトの英語名はFramework for Broad Public Engagement in Science, Technology and Innovation Policy)の略称です。PESTIは、科学技術イノベーションに対する国民のニーズを科学技術イノベーション政策形成過程に反映させるための方法論や仕組みを開発し、それを社会に実装することを通じて、より民主的かつ根拠に基づいた科学技術イノベーション政策形成の実現を目指しています。

## ➔ PESTIは、政府が推進する「政策のための科学」事業の1つです



PESTIは、京都大学、大阪大学、神戸大学、滋賀大学、鳥取大学、帝塚山大学の6大学に所属する研究者らが、2012年に始めた研究開発プロジェクトです。独立行政法人科学技術振興機構(JST)社会技術研究開発センター(RISTEX)が実施する「戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)：科学技術イノベーション政策のための科学 研究開発プログラム」の一つとして、また文部科学省が進める「科学技術イノベーション政策における『政策のための科学』推進事業」(SciREX=サイレックス)の一部としても位置づけられています。

## ➔ PESTIは、科学技術イノベーションに対する国民のニーズを反映した政策形成を目指します

PESTIは、ワークショップやシンポジウムの開催を通じて、国民の皆さんが日本社会の将来のあるべき姿、すなわち「将来ビジョン」を描く手助けをします。この将来ビジョンは、科学技術イノベーション政策に対する国民のニーズを見出すための重要な示唆を与えてくれるものとして、PESTIが連携する科学技術の研究者(=専門家)や政策形成の実務に携わる行政官(=実務家)によって検討されます。そこでは、政策立案者の取り組む政策課題(原案)と関連づけて将来ビジョンが検討されることにより、短期・長期的に国として実現したい「達成目標」や、その実現のために必要な「政策手段」、さらにはそのような政策手段の実施によって生じることが予想される「社会経済的影響」を考慮した政策メニューが作成されます。こうして作られた政策メニューはPESTIによって政策立案者に提示され、科学技術イノベーション政策形成に活用されます。

